

第4学年2組 算数科学習指導案

児童数 22名
 指導者 T1 轡田 有紀
 T2 中林 阿以香

1 単元名 広さを調べよう

2 単元について

- 本単元では、面積の概念や測定の意味について学習する。これまでの長さやかさの学習を通して身に付けてきた量の概念や普遍単位の必要感を生かし、測定の段階を踏みながら普遍単位を基に面積を数値化させ、広さを量として捉えさせる。そして、長方形、正方形の面積の求め方を理解し、簡単な図形の面積を公式等を用いて求めることができるようにする。
- 本学級は、学力面において個人差が大きく、作業や理解に時間のかかる子供が数名いる。算数科に対する苦手意識が強いので、興味関心を引く導入を取り入れ、子供たちが意欲的に課題に取り組めるようにする。面積の測定について、直接比較から任意単位による比較まで段階を踏まえながら理解できるように操作活動を重視する。必要に応じて個別支援を行えるようにTTで授業を進める。そして、学び合う場では、板書や学習形態等の工夫をすることで、子供たちが自分の考えを表現し、主体的に学ぶことができるようにする。

3 本時の学習 (2/11時)

(1) ねらい

面積の比べ方をいろいろな方法で考え、同じ大きさを基にして比べることのよさに気付く。

(2) 展開

学習過程	学習活動	時配	指導上の留意点と評価 評価 <観点> (方法) アンダーラインは研修主題との関連 (視点) 特別な配慮を必要とする子供への支援 ☆	資料等	
見通しをもつ	1 課題を確認する。 ・陣取りゲームをしたね。 ・順位はどうだったかな。	7	T1 ・前時の学習を想起できるように、ゲーム中の写真を見せ、意欲を高める。	T2 写真 拡大図 (掲示)	
4つのじん地の広さのくらべ方を考えて、4人の先生の順位を決めよう					
自分の考えをもつ	2 広さの比べ方を各自で考える ・見た目で比べる。 ・重ねて比べる。 ・重ねてはみ出た部分を切って、さらに重ねて比べる。 ・ますの数を数えて比べる。 ・同じ形のますの数で比べる。	10	・活動に入る前に、比べ方について気付いたことを発表させ、自分の考えをもてるようにする。 ・切ったり、線を書いたりして考えられるように図をたくさん準備しておく。(視点1)	☆比べ方が思い付かない子供には、T1や友達の見解を伝え分解した図で、試してみるように助言する。 ・子供のつまづきを把握し、比べ方について個別に指導する。(視点1)	拡大図 分解した図
学び合う	3 気付いたことを発表する。 ・②と③は重ねたら、上も横もはみ出る。はみ出た部分をさらに重ねたら②が大きい。 ・ますの大きさが違って比べてにくい。 ・同じ大きさのますにすると数えられる。	20	・机間指導をしながら、全体場で取り上げたい考えを見付け、意図的指名を行う。 ・理解を確かなものにするために全体の考えをペアで操作し確認する時間をとる。(視点1、3)	・机間指導をしながら、習得状況を確認する。 ・実物投影機を使って説明する際に操作を手伝う。 ・確認が進まないペアに寄り添い、説明の補助をする。(視点3)	実物投影機
	4 まとめる。 ・陣地は広い方から②③④ ・同じ大きさのますで数えると分かりやすい。	3	広さは、同じ大きさのますで数えると比べられることに気付くことができる。 (関心・意欲) (発表・ノート)		
振り返る	5 学習感想を書く。 ・同じ大きさのますで比べると正しく比べられる。	5	・「同じ大きさのます」というキーワードを使って振り返るよう助言する。	・算数日記の振り返り欄を記入するよう助言する。 カード	